

ほけんだより 6月

今年度の健康診断が、二次検査を除き、すべて終了しました。ご協力ありがとうございました。それぞれの検診で、準備や手順が異なりましたが、注意点を確認し、静かに、そしてスムーズに検診を受けることができている、とても素晴らしかったです。

学校医から受診を勧められた人には、お知らせを配布していますので、必ず保護者の方と確認し、必要な時には早めに受診しましょう。

◎雨の日の過ごし方を考えよう！



梅雨入りの時期です。雨の日には、「走っていたら転んでケガをした」という言葉をよく耳にします。すり傷だけで済まず、交通事故などに巻き込まれないか、とても心配です。また、外だけでなく校内も湿気で床が滑りやすくなります。いつもと周りの環境が違うということを意識して、周りをよく見て安全に過ごしましょう。

雨の日の「ヒヤリ」 事故を防ぐために



雨の日は事故が起きやすくなります。

大きな事故になっていなくても「ヒヤリ」とした経験はあるのでは？
こんな対策をしてみましょう。

レインシューズをはく

転倒を防ぐため、すべりにくい加工がされたものを選びましょう。

カサをさして自転車にのらない

風にあおられて転ぶかもしれない。レインウェアを着るようにしましょう。

カサや衣服を派手な色にする

車との事故を防ぐため、蛍光色・パステルカラーなど、目立つ色の服を着ましょう。



◎歯を大切にしよう！

5月に歯科検診を実施しました。他の検診と異なり、歯科検診だけは、検診を受けたすべての人に結果を配布しています。



80歳になっても

歯20本以上をめざそう！

それは、歯科は「治療が必要だから受診する」だけでなく、「予防のために受診する」ことも大切だからです。

結果はどうでしたか？ 大人の歯に生え替われば、その歯で一生過ごすこととなります。結果をしっかりと確認して、自分の口と歯の健康を保っていきましょう。

保護者の皆様へ ～歯科検診結果「歯並び」について～



「歯並び」の項目で、「定期的な観察が必要」「歯科医による診断が必要」に「○」があった場合、どのような状態のことを示すのか、下に一例を挙げました。結果をみるときの参考にさせていただければと思います。

また、「歯科医による診断が必要」の結果で、ご不明点等ありましたら愛川中学校保健室までご連絡ください。



① 反対咬合（はんたいこうごう）

下の前歯や下顎全体が前に出ている状態。物を噛む効率が悪くなることもある。また、サ行やタ行が発音しにくくなることもある。（「咬合」とは、「かみ合わせ」のことを指す。）

② 上顎前突（じょうがくぜんとつ）

前歯が前方に出ている状態。いわゆる「出っ歯」と呼ばれるもの。口が渴きやすく、むし歯や歯周病の原因となることもある。

※①と②は、成長発育不全（上顎発育不全、下顎発育不全）を起こしやすくなると言われている。

③ 開咬（かいこう）

かみ合わせたときに前歯に上下のすき間ができる状態。サ行やタ行が発音しにくくなることもある。

④ 叢生（そうせい）

大きい歯があったり、顎が小さかったりして歯の生えるスペースがなくなっている状態。歯がまっすぐ生えてくることができず、ガタガタになってしまふ。歯の重なり部分に磨き残しが出やすくなる。